

I 学校評価アンケートの結果と分析

1 児童生徒について

(1) 実施状況 全校児童生徒80名中、79名の児童生徒に実施。

(2) 結果

11項目中9項目では、「いいえ」が0人から1人程度で肯定的評価が90%近くなっているが、2項目(質問9と10)は80%を下回っており、取り組みの改善が求められる。

「9教室や廊下の掲示物を見て、わかりやすいですか。」については、「いいえ」が3名(3.8%)、「わからない」が9名(11.4%)で、肯定的評価が74.7%となっている。「わからない」の数値が高いのは質問の意味が捉えにくかったのではないかなどが考えられる。

「10廊下・階段・トイレにゴミやほこりが落ちていませんか。」については、「いいえ」が8名(10.1%)、「わからない」が6名(7.6%)で、肯定的評価が72.2%となっている。「いいえ」が多かったのは、ゴミやほこりが落ちていないかという質問のため、小学部から高等部まで、日々児童生徒は清掃活動に活発に取り組んでいるものの、小さなゴミが廊下等に落ちていたりするところを見ての回答とも考えられる。日常の清掃にはこれまで同様取り組むとともに、ゴミ等に気付いたら捨てるなどを、一人一人が意識することも必要であり、職員が手本を示しながら、意識化を図っていきたい。

2 保護者について

(1) 実施状況

保護者77名に配布、回収率100%。

(2) 結果

16項目の内、肯定的評価90%台が9項目(2,3,4,5,7,8,13,14,16)、肯定的評価80%台が6項目(1,6,9,11,12,15)と、おおむね高評価を得ることができた。今後も継続して、保護者の方との連携を図りながら、教育内容の充実や教育環境の整備等に取り組んでいきたい。

唯一肯定的評価が70%台の「10個別の教育支援計画(サポートファイルおひさま)は、外部機関との連携の際に役立つと思いますか。」は、「思わない、あまり思わない」が13名で16.9%、「わからない」も7名で9.1%と他の項目に比べ高くなっている。昨年度も肯定的評価が低かった項目であり、その要因を質問に「わかりやすく」と「役立つ」の二つの点が混在してしまったことと分析し、今年度は「わかりやすく」の表記を削除した。しかし、今年度も変わらず肯定的評価が低い結果となり、表記だけの問題でなく、「サポートファイルおひさま」の周知や活用についての課題もあることが明らかとなった。

「サポートファイルおひさま」については、今年度、複数回（４回）にわたり保護者向けの講習会を実施し、内容や活用方法についての説明を進めてきたが、今まで以上に参加を呼びかけていく必要がある。

また、個別面談時には「サポートファイルおひさま」の持参を求め、保護者と担任において共通理解を図っているところだが、単なる確認だけでなく、活用の仕方等について担任から十分に説明する必要もある。

3 教職員

(1)実施状況

教諭、養護教諭、実習助手、講師５２名に配布し、回収率１００％。

行政職１０名も実施したが、対象外の項目があるため別集計。

(2)結果

「教育内容の充実」と「教育環境の整備」に関しては、ほとんどの項目（1,2,3,4,5,7,8）で９０％以上の肯定的評価だった。唯一「施設設備は、安全に整えられていますか」について８２．６％と低くなっている。児童生徒が安全に生活できるように、施設設備の整備を計画的に進めて、一人一人に応じた、きめ細かな教育を進めていきたい。

「社会自立に向けた取り組み」では、「９．進路に関する話し合いの実施」が８８．５％、「１０．個別の教育支援計画（サポートファイルおひさま）の作成と活用」が８２．６％、「１１．医療・福祉・行政などの機関との連携」が８４．７％と、９０％を下回っているものの、昨年よりも評価が上がっている。

「１０．個別の教育支援計画（サポートファイルおひさま）の作成と活用」に関しては、保護者の評価も低くなっています。

今年度、個別の教育支援計画に合理的配慮の項目を入れ、児童生徒一人一人に応じた適切な教育内容を保護者との共通理解のもと確認し、進めているところである。保護者への十分な説明と活用を進めるためにも、教員の意識や作成活用に関する力量の向上が課題となる。

Ⅱ 開かれた学校づくり委員会からの助言

1 期日 平成２９年１月２７日（金）

2 説明内容等

Ⅰに記載した学校評価アンケートの結果と分析について説明を行い、委員の方々から以下のような意見や助言をいただいた。

3 意見・助言

(1) 個別の教育支援計画(サポートファイルおひさま)の作成と活用について

サポートファイルに関しての職員の意識も高くなった。保護者の活用を促すためには、教員や地域の方が書くことを手伝うなど、手助けをしてあげることが必要なこともある。また、実際の活用を促すためには、実習先や利用施設先

に持参するなど、活用場面を設定することも必要であろう。

(2) 地域との連携に関して

学校では行事の折にポスターの掲示等で知らせているが、地域ではなかなか関心を持ってもらえないことも多い。学校の取組を地域へ発信する方法として、市の広報を利用したり家庭に回覧したりしてもらうなどの方法があるので、活用するとよい。

(3) コンプライアンス意識に関して

子供の人権については、大人の意識が大切で、職員も意識して児童生徒の指導にあたる必要があるであろう。

また、児童生徒や保護者からの相談を受ける体制を整えて対応することが必要であろう。

Ⅲ 今後に向けて

1 教育内容の充実

今後も、保護者の思いを受け止め目標・手立て・評価を明確に作成した「個別の指導計画」を基に、一人一人に応じた手立てを講じた授業づくりを進めていきたい。

2 教育環境の整備

児童生徒が安全に生活できるように、施設設備の整備を計画的に進めると共に、校舎内施設設備の清掃等にも、注意を払っていきたい。

3 社会自立に向けた取り組み

個別の教育支援計画（サポートファイルおひさま）の活用に向け、引き続き保護者向け講習会を実施し理解啓発に努めるとともに、職員研修の内容を見直すなどして、保護者への説明が的確にできる職員の資質の向上を図っていきたい。

さらに、放課後デイや施設、実習先などの外部関係機関へ働きかけて、「サポートファイルおひさま」を活用して共通理解を図る流れをつくり、実際の活用を進めていきたい。

4 保護者や地域との連携

地域への発信方法を検討し、積極的に学校の取組を知らせていきたい。

5 コンプライアンス意識の向上

人権教育に関する研修の充実を図るなどで職員の意識の向上を図り、児童生徒の人権に配慮した教育を今後も進めていきたい。

平成28年度 児童生徒の学校評価

○(はい) ×(いいえ) ?(わからない) 回答困難		回収率100%(回収79名)				
番号	質問内容		小学部	中学部	高等部	計
1	先生は、勉強をわかりやすく教えてくださいませんか。	○	12	16	41	69
		×	0	0	0	0
		?	0	0	3	3
		回答困難	3	4	0	7
2	先生は、一緒に活動してくれますか。	○	12	16	42	70
		×	0	0	0	0
		?	0	0	2	2
		回答困難	3	4	0	7
3	先生は、あいさつしてくれますか。	○	12	16	42	70
		×	0	0	0	0
		?	0	0	2	2
		回答困難	3	4	0	7
4	先生は、困ったときに助けてくれますか。	○	12	15	42	69
		×	0	0	0	0
		?	0	1	2	3
		回答困難	3	4	0	7
5	先生は、がんばった時にほめてくれますか。	○	12	16	41	69
		×	0	0	1	1
		?	0	0	2	2
		回答困難	3	4	0	7
6	先生は、話を聞いてくれますか。	○	12	16	41	69
		×	0	0	0	0
		?	0	0	3	3
		回答困難	3	4	0	7

○(はい) ×(いいえ) ?(わからない) 回答困難		回収率100%(回収79名)				
番号	質問内容		小学部	中学部	高等部	計
7	先生は、私たちに「さん、くん」をつけてよんでくれますか。	○	12	16	41	69
		×	0	0	0	0
		?	0	0	3	3
		回答困難	3	4	0	7
8	給食は、おいしいですか。	○	12	16	42	70
		×	0	1	1	2
		?	0	0	1	1
		回答困難	3	3	0	6
9	教室や廊下の掲示物を見て、わかりやすいですか。	○	10	16	33	59
		×	0	0	3	3
		?	5	0	4	9
		回答困難	0	4	4	8
10	廊下・階段・トイレにゴミやほこりが落ちていませんか。	○	10	14	33	57
		×	1	0	7	8
		?	4	2	0	6
		回答困難	0	4	4	8
11	学校は、楽しいですか。	○	12	14	43	69
		×	0	1	0	1
		?	0	1	1	2
		回答困難	3	4	0	7

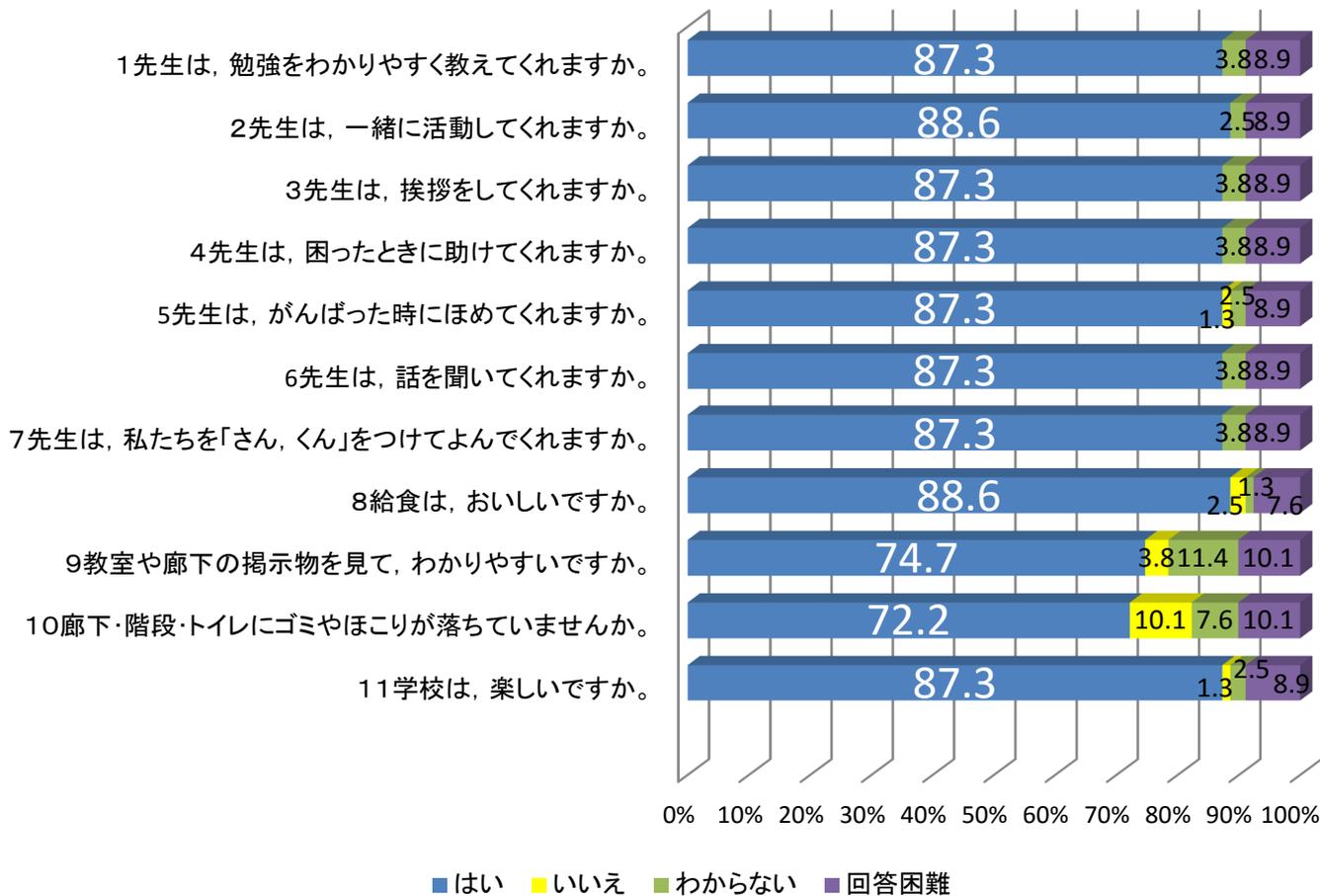
平成28年度 保護者の学校評価

4:よく思う 3:思う 2:あまり思わない 1:思わない 0:わからない		回収率100%(77名)				
	質問内容	4	3	2	1	0
教育内容の充実	1お子さんは学校に行くのを楽しみにしていますか。	42	27	6	1	1
	2学校は、保護者の願いや要望に応じた教育活動を行っていると思いますか。	26	45	3	1	2
	3学校は一人一人に応じた目標を設定し、手立て(教材や教具)を工夫した授業を行っていると思いますか。	30	41	4	1	1
	4「個別の指導計画」にはお子さんの目標・指導の手立て・学習の成果や課題などが示されていますか。	33	39	3	0	2
	5通知票(あゆみ)は読みやすく、わかりやすいですか。	31	43	3	0	0
備教育環境の整備	6学校の施設設備は、安全に整えられていますか。	20	47	6	2	2
	7学校では、お子さんの安全や健康を守るための指導や配慮がなされていると思いますか。	25	48	3	1	0
	8校内(教室や廊下)の掲示物はわかりやすく学習等に役立っていると思いますか。	28	44	3	1	1
取社会組みに向けた	9学級懇談会や個別面談・進路説明会などを通して、進路に関する必要な話し合いがされていると思いますか。	23	46	6	0	2
	10「個別の教育支援計画」(サポートファイルおひさま)は、外部機関との連携の際に役立つと思いますか。	12	45	9	4	7
	11学校は、医療・福祉・行政などの機関と積極的に連携して教育に取り組んでいると思いますか。(例:計画相談、福祉相談、PT参観など)	17	47	4	2	7
連保護者や地域との	12学校は、小中学校等に通う児童生徒との、交流及び共同学習や居住地域交流を積極的に行っていると思いますか。	21	45	4	0	6
	13学校は、保護者と連携して教育活動を進めていると思いますか。	27	45	3	1	1
	14学校は、学校公開や行事(運動会、いすみ祭)などを通して、地域との連携に努めていると思いますか。	26	45	4	0	2
ンコン上意識の向	15学校では、情報の管理がなされ、お子さんに関するプライバシーが守られていると思いますか。	29	40	1	3	4
	16学校では呼び方や言動などお子さんの人権に配慮した対応がなされていると思いますか。	25	45	2	3	2

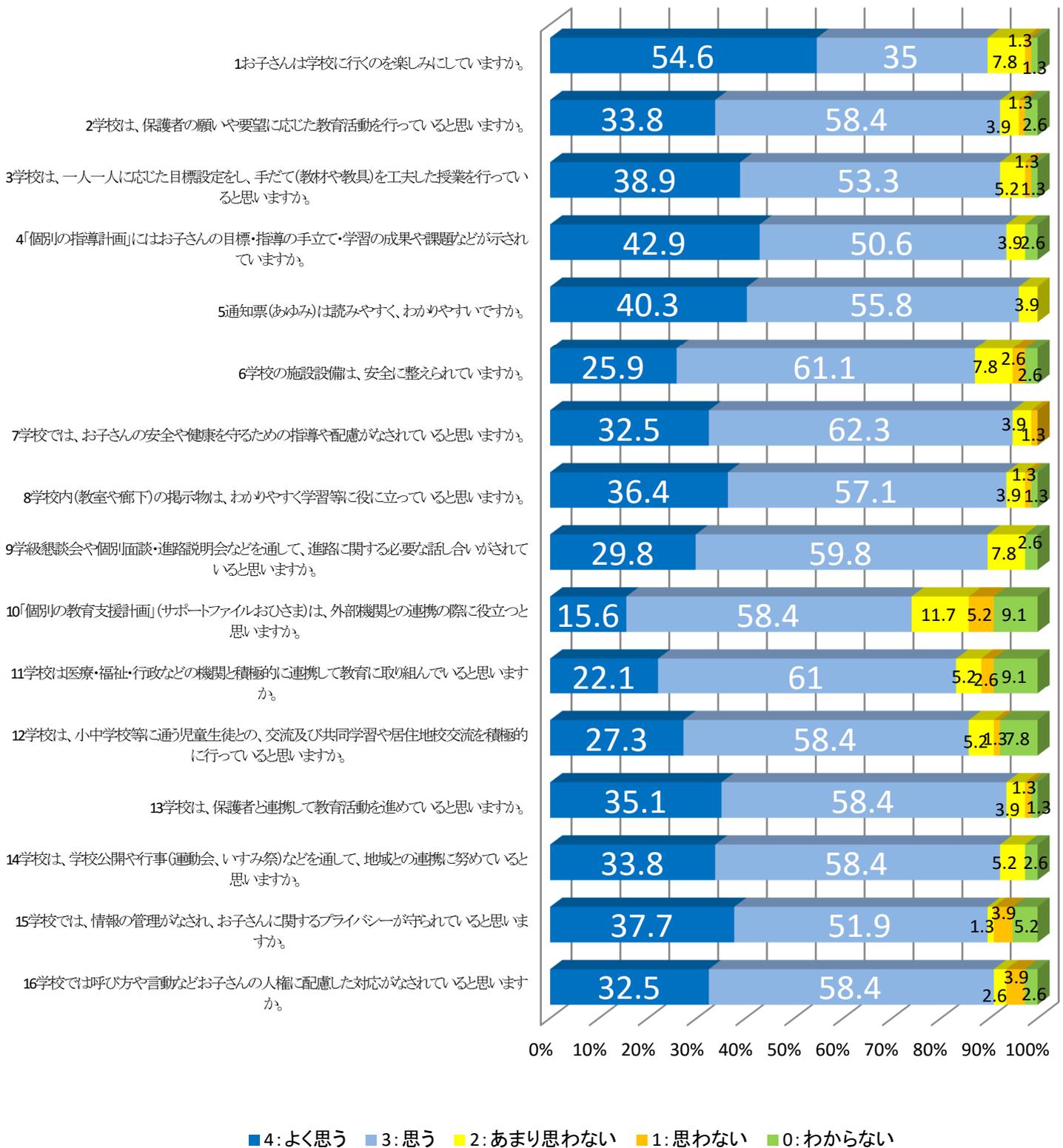
平成28年度 教職員の学校評価

4:よく思う 3:思う 2:あまり思わない 1:思わない 0:わからない		回収率100%(52名)				
	質問内容	4	3	2	1	0
教育内容の充実	1児童生徒は楽しく学校生活を送っていると思いますか。	27	25	0	0	0
	2保護者の願いや要望に応じた教育活動を行っていると思いますか。	13	36	2	0	1
	3実態把握に基づき、一人一人に応じた手立てを講じた授業づくりに心がけていますか。	13	39	0	0	0
	4「個別の指導計画」で保護者の思いを受け止め目標・手立て・評価を明確にして作成していますか。	17	34	1	0	0
	5通知票(あゆみ)を児童生徒、保護者に読みやすく、わかりやすく作成していますか。	18	33	0	0	1
教育環境の整備	6施設設備は、安全に整えられていますか。	12	31	9	0	0
	7危機発生時に備え、安全確保に必要な指導・環境整備に取り組んでいますか。	14	36	2	0	0
	8教室や廊下の掲示物は、わかりやすく工夫しながら掲示していますか。	20	31	1	0	0
向け社会取組み	9学級懇談会や個別面談・進路説明会などを通して、進路に関する必要な話し合いがされていると思いますか。	15	31	6	0	0
	10「個別の教育支援計画」(サポートファイルおひさま)を保護者、関係機関と共有しながら作成し活用していますか。	12	31	9	0	0
	11医療・福祉・行政などの機関と積極的に連携して教育に取り組んでいると思いますか。(例:計画相談、福祉相談、PT参観など)	11	33	8	0	0
地域保護者や連携	12地域の幼児や小中学校等に通う障害のある子供たちにとっても、特別支援教育のセンターとしての役割を果たしていると思いますか。	13	36	3	0	0
	13学校は、保護者と連携して教育活動を進めていると思いますか。	18	34	0	0	0
	14学校は、学校公開や行事(運動会、いすみ祭)などを通して、地域との連携に努めていると思いますか。	22	29	1	0	0
ンコン上意識の向	15情報の管理がなされ、児童生徒に関するプライバシーを守っていると思いますか。	19	32	0	0	1
	16呼び方や言動など児童生徒の人権に配慮した対応をしていると思いますか。	16	35	1	0	0

児童生徒の学校評価(回収率100%)



保護者の学校評価(回収率100%)



教職員(教諭・養護教諭・実習助手・講師)の学校評価 (回収率100%)

